図面は貴重な資料です
有効に使用しましょう

木曽谷森林計画区　第6次国有林野施業実施計画　（令和3年度樹立）　国有林野施業実施計画図　面積89,440.65ha　第５葉　（全11葉）

公共座標　第Ⅷ系（世界測地系）

木曽川広域流域　木曽谷森林計画区

中信森林管理署管内
東筑摩郡
朝日村
小木曽
（1096～1198林班）
薮原担当区
松本市
薮原
開田
末川
小木曽
（1001～1074・1077～1095林班）
笹川担当区
笹川
木曽郡
木祖村
塩沢
（1199～1214・1221林班）
薮原担当区
塩尻市
奥峰沢
（1220林班）
笹川担当区
道官
菅
（1217～1219林班）
笹川担当区
木曽福島
木曽郡
木曽町
中信森林管理署管内
1 : 20,000
0
500
1000
2000
3000m
向吉田

凡			例		
(水)	保安林	水源かん養林	附帯地	建	建物敷
(土)		土砂流出防備林		貯	貯木場敷
(崩)		土砂崩壊防備林		自道	林道敷
(干)		干害防備林		設	レクリエーションの森施設敷
(健)		保健林		附	その他附帯地
(致)		風致林	貸地	貸	全ての貸地
(砂)	砂防指定地		雑地	岩	岩石地
(定)₁	国定公園	第1種特別地域		崩	崩壊地
(定)₂		第2種特別地域		荒	荒廃地
(定)₃		第3種特別地域		湿	湿地
(定)		普通地域		草	草生地
(公)₁	県立自然公園	第1種特別地域		高	高山帯
(公)₂		第2種特別地域		池（沼）	池沼
(公)		普通地域		雑	その他雑地
(全)ト	都道府県自然環境保全地域特別地区		林種等	$\uparrow^{ヒ}_{12}$	人工林　針葉樹　樹種……ヒノキ　林齢……12年
(母)ト	特別母樹・特別母樹林			$^{\circ}_{15}$	人工林　広葉樹　林齢……15年
(鳥)	鳥獣保護区			$\frac{ヒ80}{ヒ5}$	人工林　複層林　上木樹種林齢……ヒノキ 80年　下木樹種林齢……ヒノキ 5年
(郷)ホ	郷土環境保全地域			$ヒ100/ヒ30/ヒ5$	人工林　複層林（長期育成）　上木樹種林齢……ヒノキ100年　中木樹種林齢……ヒノキ 30年　下木樹種林齢……ヒノキ 5年
(伝)	重要伝統的建造物群保存地区				
(生)ホ	保護林	森林生態系保護地域保存地区		$\frac{60}{20}\cdot\frac{60}{120}$	人工林　混交林　歩合（N又はL）……60%　林齢……20年
(生)リ		森林生態系保護地域保全利用地区		Λ80	天然林　針葉樹　林齢……80年
(群)ホ		生物群集保護林保存地区		Q50	天然林　広葉樹　林齢……50年
(群)リ		生物群集保護林保全利用地区		Λ40・Q40	天然林　育成天然林　林齢……40年
(希)		希少個体群保護林		$Λ\frac{65}{120}\cdot Q\frac{65}{120}$	天然林　混交林　歩合（N又はL）……65%　林齢……120年
(休)カ	レクリエーションの森　自然休養林	自然観察教育ゾーン		人伐	人工林伐採跡地（伐採により無立木地となった林分）
(休)シ		森林スポーツゾーン		天伐	天然林伐採跡地（伐採により無立木地となった林分）
(休)ヤ		野外スポーツゾーン		単未	単層林（主伐実行後で更新未了林分）
(休)フ		風景ゾーン		天未	天然生林（主伐実行後で更新未了林分）
(休)タ		風致探勝ゾーン		未	未立木地（伐採跡地以外の無立木地）
(森)	レクリエーションの森	森林スポーツ林	代表樹種　人工林	ス	スギ
(野)		野外スポーツ地域		ヒ	ヒノキ
(探)		風致探勝林		サ	サワラ
(レ)		その他レクリエーションの森		ア	アカマツ
分育	分収育林契約に基づく分収林			カ	カラマツ
分造	分収造林契約に基づく分収林			N	その他針葉樹
(遺)	遺伝子保存林		施業群	⑥	小面積分散伐区
(精)	精英樹保護林			㉑	長伐期
(検)	検定林			㊼	人工林複層伐（植栽型）
(指)	施業指標林			(56)	人工林択伐
(展)	展示林			(61)	天然林複層伐（天然更新型）
(試)	試験地			(62)	木曽五木複層伐（天然更新型）
(帯)	保護樹帯			(63)	木曽ヒノキ等複層伐（天然更新型）
(畔)	渓畔林			(71)	天然林択伐
(ふ)	ふれあいの森			(72)	木曽五木択伐
(文)	木の文化を支える森			(73)	木曽ヒノキ文化財等択伐
(活)	多様な活動の森			(78)	実験林
(悠)a	核心地域（コアa）			(96)	その他
(悠)b	核心地域（コアb）				
(悠)ハ	緩衝地域（バッファ）				
機能類型	🟩	山地災害防止タイプ			
	⬜	水源涵養タイプ			
	🟧	自然維持タイプ			
	🟨	森林空間利用タイプ			
	🟥	快適環境形成タイプ			

注１）林班番号上に記号が表記してある場合は、その記号の種別が林班全域にかかることを表す。
ただし、記号の上部に縦棒が追加されている場合（○）は一部に異なる種別が存在することを表している。
注２）林齢は、令和3年3月31日時点（令和2年度データ）である。
注３）等高線の間隔は、国有林20m、民有林10mである。なお、民有林は国土地理院の地形図を調製したものであり、国有林の等高線と必ずしも一致しない。

令和三年度調製　中部森林管理局　木曽森林管理署　薮原・笹川担当区

（木　曽）　1001～1074・1077～1214・1217～1221　所在地　長野県　木曽郡　木祖村

本図は空中写真図化による５,000分の１基本図を縮図調製したものである。

「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 3JHs 622」

国土地図株式会社